

令和5年度 尾瀬子どもサミット オンライン交流会 を開催しました

尾瀬国立公園がある新潟、群馬、福島3県の小・中学生が交流する「尾瀬子どもサミット」オンライン交流会を開催しました。

このサミットは、尾瀬での自然保護活動や動植物観察等のフィールド活動を通して子どもたちの環境に対する認識を深めることを目的として、平成6年に始まりました。

令和2年以降は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止し、令和4年からは、尾瀬を通して環境学習を進めている3県6校の学校をオンラインでつないで交流会を実施しています。

《開催期日》

令和5年9月29日（金）

《参加校》 各県から2校が参加

【新潟県】 魚沼市立堀之内小学校	5年生（代表5人）
魚沼市立広神東小学校	5年生（29人）
【群馬県】 沼田市立利根小学校	5年生（18人）
群馬県立中央中等教育学校	1年生（代表6人）
【福島県】 玉川村立玉川第一小学校	6年生（代表2人）
南会津町立荒海中学校	1年生（10人）

《交流の様子》

—開会式—





開会式では、参加した 6 校がそれぞれ学校紹介をしました。

発表





発表では、各県1校ずつ2班に分かれ、尾瀬環境学習で学んだこと、今後にかかしていきたいことを発表しました。自分たちが取り組んでいる環境保全活動や総合的な学習の時間についての発表もあり、他校の取組を知る良い機会となりました。

— 講話 —



講話では、尾瀬保護財団の登坂様から、尾瀬の四季や尾瀬を支える人たちについてお話をいただきました。自分たちが知らない尾瀬の魅力についても知ることができ、尾瀬の自然を守ろうとする気持ちを高めることができました。そして、尾瀬を通して学んだことを、身近な自然を守ることにつなげていこうという思いを強く持つことができました。

— 閉会 —



最後に、画面上で集合写真を撮りました。

県外の学校とオンライン交流を行うことはほとんどないため、今回の交流はとても良い機会となりました。

尾瀬を通して環境学習を行った子どもたちが、それぞれの学習の成果等を発表したり意見交換したりすることで、環境に対する認識をさらに深めることができました。